

平成23年度 第1回 花巻市男女共同参画審議会 会議録

- 日 時 平成23年9月5日(月) 14:00～16:20
- 場 所 花巻市役所本庁舎 3階 委員会室
- 出席者 審議会委員14名(全員)、
佐々木副市長(挨拶後に退席)、亀澤部長、阿部課長、齊藤係長、高橋主任
傍聴者1名(新聞社1社)
- 進 行 齊藤係長

開会に先立ち、佐々木副市長より各委員に対し委嘱状交付。

■挨拶 佐々木副市長

当市では、平成18年の合併時に花巻市男女共同参画推進条例を制定、翌年に花巻市男女共同参画基本計画を策定し、男女共同参画を推進するための事業を実施している。計画の期間は平成19～27年度であるが、現在の計画のままでよいのか、あるいは、計画の変更が必要か、または、概ね進んだと思われる部分は割愛してもよいのではないかなど、忌憚のないご意見をいただきたい。最後に、審議会の委員をお引き受けいただき、ありがとうございました。

■委員紹介 委員紹介に続き、担当職員の紹介。

■会長及び副会長の選出

委員の役割を条例により説明(阿部課長)後、亀澤部長の進行により選出。

委員より「事務局案は？」との発言があったことから、事務局案を発表することに対する了承を得た後、事務局より会長に高橋秀憲委員、副会長に岩淵満智子委員とする案を発表。本人の承諾及び他委員の了承により、事務局案のとおり決定した。

審議の進行について高橋会長と打合せのため、暫時休憩。

■審 議 進行：高橋会長

資料説明：阿部課長

平成22年度に実施した男女共同参画推進事業の内容及び事業点検結果等について説明を行なった後、意見をいただいた。

【主な意見】

○市民からの意見聴取について

事業のアンケートなどを実施する際に、市民からの評価を設けることにより今後の判断材料になると思う。例えば、この事業はやめた方がよいなど。

○チェックリストによる自己評価について（資料16頁）

チェック項目は、事業の実施方法に関する項目のみであるが、「男も女も自分らしく生きる」という生きやすさにつながるようなチェック項目を入れたほうがよい。

○施策の体系について

基本目標の下に位置付けられている、大項目・中項目・小項目と実際の事業内容が合っていない事業が見受けられる。

○市の現状把握について

市として、現状や問題点をどのように捉えているか。また、男女共同参画推進員の活動がよく分からないという声も聞かれるので、どのような活動をしているのか。

→まちづくり市民アンケートの結果から、十分とは言えないと認識している。「男女共同参画」を必要以上に難しく捉えている傾向があるかもしれない。男女共同参画推進員は、それぞれの地域での推進や市の事業にご協力いただいている。昨年からは地域での推進に重点を置き、意識啓発講座の内容を見直したりコミュニティ会議に働きかけたりしている。

○コミュニティ会議への住民参加について

若い世代が平日の日中に参加するのは無理だし、女性も一歩引いて前面には出ようとしない。コミュニティ会議自体も努力が必要だと思う。資料9頁の働きかけは、評価できる。

○民生委員について

本気で男女共同参画を進めようとするのであれば、例えばDVセミナーなどに各地区から2名の参加を要請するなど、地域福祉課との連携も考慮してはどうか。

○事業の周知について

「男女共同参画って何？」と思っている人はまだまだ多いと思うので、各団体などに働きかけるなどして、すそ野を広げる努力が必要だと思う。周知のしかたが狭いような気がする。

○事業の内容等について

資料48頁の「女性のつどい」などは、参加したくなるようなタイトルが必要。数年前の同事業は、北上の医師を講師に招き「5才若返るには？」というような内容だった。みなさんが取りかかりやすいような内容の事業が良いと思う。

「本日の意見に対する検討結果を、次回の審議会でお聞かせいただければ」との高橋会長のことばで閉会した。